

平成31年度(2019年度)
公益財団法人鎌倉市芸術文化振興財団事業計画

I 基本方針

公益財団法人鎌倉市芸術文化振興財団は、鎌倉地域の芸術文化の向上と振興、創造的な芸術文化活動の育成支援、国内外の優れた芸術文化の紹介を使命として運営しています。

平成31年度は前年度に引き続き、鎌倉文学館、鏑木清方記念美術館の二つの文化施設の指定管理の着実な運営と集客力の向上、鎌倉市芸術文化振興財団自主事業の充実を目指します。

また、鎌倉芸術祭や伝統芸能観賞会などを始めとする財団独自の事業を、自主公演、実行委員会形式、共催や後援など様々な方法で、市内の文化施設や社寺教会を中心に、市民や市内各団体とも協同、連携しながら実施していきます。

そして少数精鋭の組織を目指し、職員のさらなる資質の向上、専門性の強化を引き続き進めるとともに、効率的な運営、安定した財務基盤の改善に向けた取り組みを行います。

さらに鎌倉市がおこなう芸術文化事業の一翼を担うための役割分担について、鎌倉市との連携強化をすすめ、市制80周年記念事業も含め、歴史文化都市鎌倉にふさわしい芸術文化の向上と振興を目指します。

II 事業内容（概要）

1 本部 総務課

(1) 芸術文化の創造及び鑑賞機会の提供事業及び市民の芸術文化活動の育成及び支援事業

鎌倉芸術館を中心に、鎌倉市内すべてを芸術文化活動の場ととらえ、新たな事業の創出に向かって、本年度は、次のような事業等を試みていきます。

事業内容	開催予定時期等	場所	備考
映画鑑賞会（予定） 「第15回鎌倉名画座」	未定	会場要検討	共催、後援形式を検討
音楽鑑賞会（予定）	未定	会場要検討	共催、後援形式を検討
伝統芸能鑑賞会 「第5回鎌倉笑輪会」	11月9日	鎌倉芸術館 小ホール	落語家・柳家花録出演 による落語会
鎌倉俳句&ハイク	通年	市内各所	投句の募集・選考・ 表彰・年間大賞表彰式
第14回鎌倉芸術祭の運営	9月～11月	社寺教会	鎌倉芸術祭実行委員会 との連携・協力

(※ 事業名および時期等は変更することがあります)

2 鎌倉文学館

(1) 芸術文化の創造及び鑑賞機会の提供事業

① 展示事業

鎌倉文学館の所蔵品をはじめとし、広く鎌倉ゆかりの文学者と文学を紹介するため、常設展と特別展及び収蔵品展を実施します。常設展は鎌倉ゆかりの文学を紹介します。特別展は、春は三島由紀夫の小説『春の雪』刊行50年を記念し『春の雪』を含む「豊饒の海」シリーズを紹介、夏は童話作家で市民栄誉賞を受賞した角野栄子さんの協力により子ども向けの展覧会を開催します。秋はオリンピックプレ企画として文学者とオリンピックについて紹介します。収蔵品展は、随筆や小説など作家の目を通した鎌倉の魅力を紹介します。

常設展示室 事業名	開催予定時期等	入場料金
<常設展> 「鎌倉ゆかりの文学」 ※年4回展示替え	4月1日～2020年3月31日 ※特別展・収蔵品展と同時開催	
特集展示 雑誌「人間」創刊100年	春	
特集展示 生誕110年「菊岡久利」	夏	
特集展示 没後80年「泉鏡花」	秋	
特集展示 生誕130年「村松梢風」/ 全国文学館協議会共同展示「文学と天災地変」	冬	
ミニ展示「鎌倉を舞台にした作品」 ※年4回展示替え	4月1日～2020年3月31日	

(※ 事業名および時期等は変更することがあります)

開催日数合計 305日

特別展示室 事業名	開催予定時期等	入場料金
※30年度からの継続事業 <収蔵品展> 「作家と歩く鎌倉 その3 北鎌倉・大船方面」	4月1日～4月14日 (開館日数12日)	300円
<特別展> 「三島由紀夫『豊饒の海』のススメ」	4月20日～7月7日 (開館日数75日)	500円
<特別展> 子どもたちへ、未来へシリーズ9 「角野栄子の世界」	7月13日～9月23日 (開館日数67日)	500円
<特別展> 「オリンピックと文学者」(仮)	10月6日～12月15日 (開館日数67日)	500円
<収蔵品展> 「作家と歩く鎌倉 その4」(仮)	12月21日～2020年3月31日 (開館日数84日)	300円

(※ 事業名および時期等は変更することがあります)

開催日数合計 305日

(2) 芸術文化の振興に関する調査研究事業

鎌倉ゆかりの文学者および文学作品等について情報および資料を収集します。資料に関しては「鎌倉文学館資料整理基準」に基づき、適切な維持管理を行います。鎌倉ゆかりの文学者および文学作品等の調査および研究を行い、調査および研究の成果を図録等の刊行物として作製し市民に公開します。

- ① ゆかりの文学に関する調査研究の業務
- ② ゆかりの文学資料の収集
- ③ 所蔵資料のレプリカの製作
- ④ 図録等の作製及び頒布
- ⑤ 鑑賞動機や意向等のアンケートの実施
- ⑥ 収蔵管理システム
- ⑦ 収蔵資料の点検

(3) 芸術文化の振興に関する情報収集及び提供事業

鎌倉ゆかりの文学の情報を収集し、ホームページ等で提供します。また、収集した情報と調査研究事業の成果とあわせて、レファレンス業務に反映させていきます。

- ① 鎌倉を舞台にした文学作品の情報収集
- ② 文学に関するレファレンス業務

(4) 市民の芸術文化活動の育成及び支援事業

市民が文学について理解を深め、親しみを感じられるよう、より普及事業に力を入れていきます。これまで取り組んできた文学講演会、文学講座、文学散歩などは、内容を充実させます。そして、古典講座、展示解説、資料解説講座、資料調査講座、自作を語る、朗読ワークショップなどを実施します。子ども向けの事業として子ども参加プログラムや、やってみよう文学館のお仕事を開催。さらに第8回こども文学賞を開催し、全国の小中学生から詩を募集します。

事業名	開催時期等	料金等	備考
文学講演会	春・秋	無料	特別展の関連し、展覧会監修者やご遺族による講演会
文学講座	春・秋	無料	文学について理解を深めるための専門家等による講座
文学散歩	5月 11月 3月	無料	文学者、文学作品、文学碑などの文学遺跡を地域ごとに、文学館職員の解説で市内を散策する。
文学スタンプラリー	秋	無料	文学館をゴールに市内の文学ゆかりの施設をめぐるスタンプラリー

事業名	開催時期等	料金等	備考
子ども参加プログラム	夏	無料	親子や子どもを対象としたワークショップ等を実施
古典講座	6月, 3月	無料	要望が多い古典文学の講座を実施
やってみよう文学館のお仕事(子ども向け)	夏	無料	自分だけの小さな展覧会を作る、学芸員体験ワークショップ
展示解説	毎週土日祝日	無料	展示資料や建物について職員が解説
資料解説講座	7月, 12月	無料	館収蔵資料について調査研究し、資料の背景や魅力を解説
自作を語る	2回	無料	作家に自作を語っていただく。
学芸員実習	8月	有料	博物館学芸員資格履修者のため実習をおこなう。
インターンシップ	適宜	無料	中学生、高校生に向け職業体験をおこなう。
第8回こども文学賞	秋		小中学生を対象とする詩の募集、選考、表彰
朗読ワークショップ	秋(2回)	無料	作品への理解を深めた後、プロの指導のもと朗読を学ぶワークショップ
資料調査講座	秋	無料	館収蔵資料について、学芸員の調査を疑似体験する講座

・他館との連携

夏の特別展の期間中に神奈川近代文学館、町田市民文学館ことばらんどと連携し、子どもたち向けに「夏の文学館スタンプラリー」を実施します。また、春のバラまつり期間中に鎌倉彫資料館と連携し、鎌倉彫でバラを彫るワークショップを開催します。

(5) 文化施設の管理運営事業

従来のホームページ、Facebook、twitterに加え、平成30年度に新たに開設したInstagramを活用し、よりタイムリーな情報発信を図ります。また地域のメディア、施設へ積極的に情報提供を行うなど地域と触れあう地道なPR活動により、知名度の底上げを図ります。広報宣伝活動の一環として、春と秋のバラ園の開花と、クリスマス、バレンタインの時期にあわせてイベントを行います。また、江ノ島電鉄と連携し、江ノフェス参加を予定します。また2020年のオリンピック・パラリンピックに向けて、多言語対応に取り組む予定です。

- ① 鎌倉文学館の利用に関すること
 - ア. 鎌倉文学館の利用の承認等に関する業務
 - イ. 利用料金の徴収及び還付事務に関する業務
 - ウ. 鎌倉文学館への来館促進及び広報宣伝に関する業務
 - エ. 施設案内業務
 - オ. 入館者の安全に関する業務
- ② 鎌倉文学館の施設管理に関すること
 - ア. 施設管理運営業務
 - イ. 施設清掃業務
 - ウ. 保安警備業務
 - エ. 庭園維持管理業務
 - オ. 備品管理業務
- ③ 鎌倉文学館の資料に関すること
 - ア. 鎌倉文学館資料の維持管理業務

(6) 収益事業

当財団の公益目的事業の推進に資するため、鎌倉文学館オリジナルのミュージアムグッズ販売、一般書籍などの受託販売、他施設への企画提供、飲料自動販売機設置など、収益事業を行います。

3 鍋木清方記念美術館

(1) 芸術文化の創造及び鑑賞機会の提供事業

① 展示事業

これまでに蓄積した調査結果と研究成果に基づき、特別展と企画展を実施します。

個人所蔵家や他館から作品を借用し開催する特別展では、大正の中堅日本画家による研究団体・金鈴社と清方について紹介する展覧会や、三遊亭圓朝生誕 180 年記念、泉鏡花没後 80 年展を開催します。本テーマに基づき、多角的に清方の画業を顕彰するため、可能な限り関連作家の作品を展示し、同時代の他作家との比較や影響関係を検証します。

企画展では、清方が画家として歩み始めた初期の画業や、手がけた挿絵やデザイン、好んで描いた芝居絵など、さまざまな視点から清方を紹介します。

当館展示事業

展覧会名	開催予定期間等	入場料
※30年度からの継続事業 ＜企画展＞ ゑがき、ゑがく 清方 ーその優美な絵の世界ー	4月1日～4月14日 (開館日数12日) (3月2日から 開館日数38日)	200円
＜特別展＞ 清方と金鈴社の画家たち ～吉川霊華・結城素明・平福百穂・松岡映丘～	4月18日～5月22日 (開館日数31日)	300円
＜特別展＞ 三遊亭圓朝生誕180年記念 清方と江戸の粋 ～三遊亭圓朝との関わり～	5月25日～6月30日 (開館日数31日)	300円
＜企画展＞ 清方、若き日の歩み ～明治・大正の画業を中心に～	7月6日～8月25日 (開館日数44日)	200円
＜企画展＞ 清方と弟子たち ～受け継がれる美～	8月31日～10月22日 (開館日数45日)	200円
＜特別展＞ 泉鏡花没後80年 清方と鏡花 ～ふたりで紡ぐ物語の世界～	10月26日～12月1日 (開館日数31日)	300円
＜企画展＞ 清方、新春を寿ぐ	12月6日～平成32年1月13日 (開館日数29日)	200円
＜企画展＞ 物語に魅せられて ～清方の芝居絵を中心に～	1月17日～2月25日 (開館日数35日)	200円
＜企画展＞ 清方の挿絵と装丁 ～華麗なる木版画の世界～	2月29日～3月31日 (開館日数27日) (4月12日まで 開館日数38日)	200円

(※ 事業名および時期等は変更することがあります)

開催日数計 285日

出張展示

名都美術館 ＜特別展＞ 鍋木清方展ー古きよき時代を偲ぶー	10月11日～12月15日	1,000円 (予定)
---------------------------------	---------------	----------------

(※ 事業名および時期等は変更することがあります)

(2) 芸術文化の振興に関する調査研究事業

鏑木清方の画業に関する調査研究を行い叢書図録の製作準備のほか、資料公開の促進や良好な保存を行うための作品・下絵の修復事業にも力を入れます。また、ホームページ上で全収蔵品目録のデジタルアーカイブ公開を目指すため、ホームページの作成に取り組み、順次、作品情報・解説文（日・英）を掲載します。さらに入場者の鑑賞意向調査を行い、美術館事業にも反映していきます。

- ① 鏑木清方に関する専門的な調査研究
- ② 鏑木清方関係資料の収集
- ③ 鏑木清方の作品・下絵等の修復
- ④ 鏑木清方叢書の製作準備

事業名	内容
叢書 22 「鏑木清方と昭和の美人画」 (仮)	清方の美人画の完成が見られる昭和期の作品や、伊東深水、山川秀峰ら弟子たちによる青衿会との関わり、女性雑誌の口絵の画業について調査します。

(※ 事業名等は変更することがあります)

- ⑤ 全収蔵品目録ページの作成
- ⑥ 展示鑑賞動機や意向等のアンケートの実施

(3) 芸術文化の振興に関する情報の収集及び提供事業

鎌倉市鏑木清方記念美術館と鏑木清方の情報を発信します。今年度から年報のホームページ上での掲載を始めるため、開館時から平成 28 年度までの美術館活動記録のデジタル化とともに、平成 29 年度・30 年度の活動報告をまとめ、公開します。また来館のきっかけを作る事業を行い、より多くの媒体に取り上げられるよう広報宣伝にも力をいれます。

事業名	掲載時期	備考
年報のホームページ上の公開	3 月	平成 10 年度から平成 30 年度までの年報の掲載

事業名	開催時期等	料金等	備考
鎌倉ミュージアムめぐり スタンプラリー	4 月～ 12 月	入館料	川喜多映画記念館、神奈川県立近代美術館 鎌倉別館、鎌倉国宝館、鎌倉歴史文化交流館との連携事業
鎌倉の小さな美術館へ ようこそ！	秋季	入館料から 50 円割引	北鎌倉葉祥明美術館、川喜多映画記念館との連携事業
清方・蓬春 連携企画	冬季	入館料から 50 円割引	山口蓬春記念館との連携事業

(※ 事業名および時期等は変更することがあります)

前記の他、次の事業を行います。

- ① 広報宣伝（ホームページやツイッター・フェイスブックの活用、案内パンフレット配布）
- ② 企画協力、資料貸し出し協力

(4) 市民の芸術文化活動の育成及び支援事業

講演会や講座、子ども向けプログラムの開催のほか、学芸員実習生、高校生のインターンシップ、大学院生のインターンの受入れを行い、美術館の業務推進を図るとともに、将来美術館業務に携わる世代の育成支援を行います。また、今年度から通常の展示解説に加えて外国人を対象にした解説も準備し、進めていきます。

事業名	開催時期等	料金等	備考
美術講演会	5月・11月	500円	特別展に関連した講演会
展示解説	毎月の第2・第4土曜日 (団体は随時)	無料	学芸員による展示解説
市民講座	4月	無料	学芸員等による講座タイプの解説
日本画ワークショップ	5月・6月・9月・10月・11月	有料	一般向けの日本画材を使って絵を描くワークショップ
日本画制作実演	10月	無料	日本画家による日本画を描くデモンストレーション
子ども参加プログラムワークショップ	4月・7月・8月	有料	小学生から高校生対象の日本画材を使って絵を描くワークショップ
子ども参加プログラム親子鑑賞	春休み・夏休み期間中(4月・7月・8月・3月)	無料	小学生・中学生及び同伴者の観覧料無料、ワークシートの配布を行う。
紫陽花イベント	6月	有料	鎌倉の紫陽花と清方作品を鑑賞するプログラム(NPOとの連携事業)
親子参加プログラムワークショップ	7月	有料	未就学児童～小学校低学年対象親子で美術館を楽しむワークショップ(NPOとの連携事業)
学芸員実習	8月	10,800円	大学の学芸員実習課程履修者に対して実習を行う。
インターンシップ	随時	無料	中学生・高校生にむけ職業体験を行う。
インターン(大学生・院生)	随時	無料	大学生・大学院生を対象に就労体験を行う。

(※ 事業名および時期等は変更することがあります)

(5) 文化施設の管理運営事業

鏑木清方記念美術館の施設管理、運営を行います。

- ① 鏑木清方記念美術館の利用に関すること
 - ア. 鏑木清方記念美術館の利用の承認等に関する業務
 - イ. 利用料金の徴収及び還付事務に関する業務

- ウ. 鏑木清方記念美術館への来館促進に関する業務
 - エ. 施設案内業務
 - オ. 入館者の安全に関する業務
- ② 鏑木清方記念美術館の施設管理に関すること
- ア. 施設管理運営業務
 - イ. 施設清掃業務
 - ウ. 保安警備業務
 - エ. 庭園維持管理業務
 - オ. 備品管理業務
- ③ 鏑木清方作品等に関すること
- ア. 鏑木美術作品等の維持管理業務

(6) 収益事業

その他、来館者サービスの一環として、美術館オリジナルの絵はがき・一筆箋などのミュージアムグッズや叢書を販売します。希望者には通信販売も行います。また、書籍などの受託グッズ販売も併せて行います。